

平成25年5月 24日
第五管区海上保安本部

三機関との合同潜水訓練を実施

～水難事故多発期を前に救助技術の確認を行う～

水難事故が多発する夏季を迎えるこの時期に、第五管区海上保安本部、神戸市消防局、兵庫警察本部が合同で潜水訓練を実施し、お互いの技術を確認することで水難救助現場での円滑な活動に繋げようとするものです。

今回の訓練は、第五管区海上保安本部からは、神戸海上保安部及び高知海上保安部の潜水士、神戸市消防局からは、水上消防署の特別高度救助隊員、兵庫警察本部からは、警備部機動隊員が参加します。

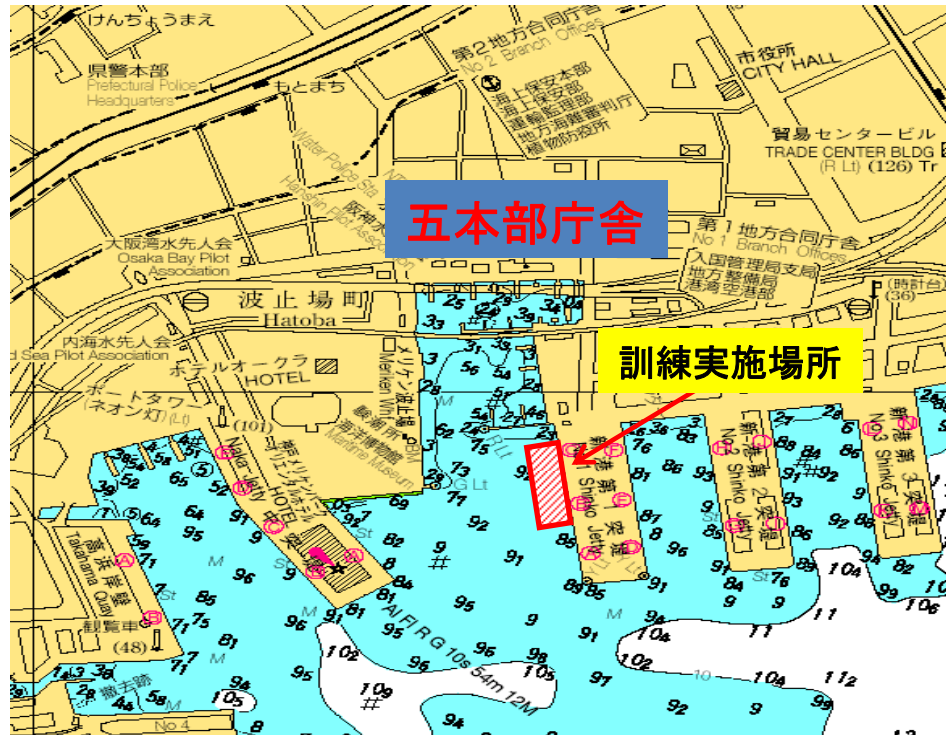
合同潜水訓練は、関係機関との連携強化及び救助技術の向上を図るべく、兵庫県下の救助関係機関との合同潜水訓練を定期的実施しており、今回の訓練はその枠組みを活用するものです。

- 1 訓練日時 平成25年6月18日(火) 13:30～15:30
- 2 訓練場所 神戸市中央区新港町新港第1突堤に着岸中の巡視船「とさ」及び前面岸壁
(第五管区海上保安本部前面岸壁(別添参照))
- 3 参加機関
- ・高知海上保安部 救難強化巡視船「とさ」(6名)
 - ・神戸海上保安部 潜水指定船「はるなみ」(2名)
 - ・神戸市消防局 特別高度救助隊スーパーイーグルこうべ(4名)
 - ・兵庫県警察本部 警備部機動隊(5名)
- 4 その他 (1) 滋賀県大津市消防局からも琵琶湖における水難事故に対しての救助技術の向上を図るべく本合同潜水訓練を見学します。
- (2) 本訓練には、51歳と38歳のベテラン海上保安官が潜水士に復帰し参加します。
- ①西田 昭一(にしだ しょういち) 年齢 51歳
巡視船とさ 主任機関士(二等海上保安正)
- ②北崎 善男(きたざき よしお) 年齢 38歳
巡視船とさ 主計士(三等海上保安正)

※ なお、海上保安庁における潜水士復帰の最高齢は、平成23年12月15日 新潟海上保安部 巡視船「やひこ」佐々木首席航海士の持つ49歳でしたが、この度、高知海上保安部巡視船「とさ」西田主任機関士は齡50を過ぎての復帰となります。

ヘリ甲板つき
大型巡視船
1000トン型

識別番号 PL08
船名 とさ
総トン数 約1400トン
全長 約94メートル
所属 高知海上保安部



訓練実施場所
新港第一突堤前面海域

訓練項目

●基礎訓練

- ・飛び込み（「とさ」船首 高度7m）
- ・素もぐり（耳抜き体調確認）
- ・ドルフィン（手を使わず脚力で推進するもの）
- ・ロープ登り（海面から「とさ」船首付近）

（写真：飛び込み・ロープ登り 海域は神戸）



●応用訓練(実働訓練)

- ・行方不明者潜水捜索(環状捜索法)

（写真：環状捜索の様子 海域は沖縄）

